

第五回老人クラブと小学生の集い

和田日出美さん寄稿(福船)

八月七日午後一時より、公民館長、南国警察署交通課、生活環境課より四名のご出席をいただき、ふれあいセンターで老人クラブと小学生の交流会を開きました。

老人クラブ二十四名、小学生



ドッチが長い?負けてたまるか!

十八名出席しました。会長及び公民館長の挨拶のあと、交通課長よりビデオを参考にしながら自転車の交通ルールの指導を受けました。子供たちもうなづきながら熱心に三十分タツプリとお聞きしました。次に生活環境課長より、振込詐欺に対するご注意をいただきました。小学生には、鉛筆、キーホルダー他のプレゼントをいただき、老人クラブは反射タスキをいただきました。

次に内田富美子さんの指導を受け、ドイツ民謡の「キングダールカ」の曲にあわせてホークダンスを楽しみいい汗をかきました。老人も生き生きとして、腰の痛さをしばし忘れて夢中になり、やつとりズムに乗り出すと終わりに残り残念残念!!。

その次は小川美弥子さんによる、佐川の猿田洞を題材にした土佐民話「術くらべ」と高知大空襲の実話を元にした「神の手のがれ」と言う九死に一生を得られた方の物語を、紙芝居で見せていただき、私は当時を思い出し、いろいろしみりと考え込みました。子どもたちも少し

は理解してくれたと思います。次は楽しいゲームです。小学生と老人を交互に組を作り、競争です。紐をくじ引きの要領で引き、繋ぎあわせ、長さを競い、終わると次々と解いてゆくりレィです。みんな上手でほとんど同時でした。バケツにおじやみを入れる競技も甲乙なく終えました。

次は和田則雄さんのハーモニカ伴奏で大変元気に日章小学校校歌の合唱、島崎ミヨさんのハーモニカに合わせ、夏の童謡四曲を大声で歌い終え、みんな大満足です。最後は「ピングゲーム」です。ピングになった人から好きな品物を選び取ってゆき、時間はアツという間に過ぎて、お迎えのお母様方をお待たせ致しました。

ボウリング大会に参加して

福留美和子さん寄稿(金地)

十一月二十九日(日)に公民館行事のふれあいボウリング大会に参加しました。参加者が少なく盛りにがりに欠けました。ピンが倒れると喜び、ピンが残ると残念がり若者から中高年



福留さん 優勝おめでとうございます

まで十六名で心ゆくまで楽しみました。

私は幸運にも優勝し、賞品も沢山あり一番大きい賞品をもらってごきげんで帰って来ました。皆さんも次の大会には是非参加してみませんか。楽しいですよ。



腕前はプロ級?のメンバー!